

北海道大学獣医学部×札幌市円山動物園 市民公開講座 「科学する動物園—大学と動物園の連携が拓く未来—」を開催

獣医学研究院・獣医学部では、本年2月に札幌市円山動物園と締結した連携協定の締結記念キックオフ企画として、「科学する動物園—大学と動物園の連携が拓く未来—」をテーマにした市民公開講座を8月25日（金）に獣医学研究院講堂において開催しました。

この連携協定は、獣医学研究院・獣医学部と札幌市円山動物園が、相互の連携を強化しながら、それぞれの資源・機能を効果的に活用し、動物に関する教育研究活動の拡充を図り、もって動物の福祉、人・動物・環境の健全な共生、並びに動物園と大学の役割向

上に寄与することを目的としています。

市民公開講座は、互いの理解を深め、連携の第一歩として開催したもので、約180名（市民参加者47名、本学獣医学部及び帯広畜産大学の共同獣医学課程の学生87名を含む）が参加しました。

堀内基広獣医学研究院長及び加藤修札幌市円山動物園長の挨拶の後、第1部として「動物園の将来の機能について」と題して小菅正夫札幌環境局参与（円山動物園担当）による基調講演が行われ、第2部は「北海道大学獣医

学部及び円山動物園による報告」として、双方の教職員により、これまでの共同研究や連携活動の取り組みと今後の展望の報告がなされました。

また、公開講座終了後には、連携協議会を新たに設置及び開催し、今後の連携活動に関する実務者協議を行い、獣医学教育、研究及び獣医医療のより一層の推進、動物園獣医師の知識や技術向上等の人材育成を目指して意見交換が行われました。

（獣医学院・獣医学研究院・獣医学部）

講座内容

第1部 「動物園の将来の機能について」 小菅正夫 札幌市環境局参与（円山動物園担当）

第2部 「北海道大学獣医学部及び円山動物園による報告」

①「円山動物園のゾウ導入に向けた取組について」

朝倉卓也 札幌市円山動物園飼育展示課

②「北大と動物園の連携事業～これまでの取り組みと今後の展望～」

大澤夏生 札幌市円山動物園飼育展示課

③「病理学の視点から見た大学と動物園の連携」

木村享史 北海道大学大学院獣医学研究院教授

④「動物園動物の繁殖を支える—円山動物園との連携と共同研究—」

柳川洋二郎 北海道大学大学院獣医学研究院助教



公開講座開会の挨拶を行う堀内研究院長



基調講演を行う小菅札幌市環境局参与